

各 位

オリックス証券株式会社

株式取引「プラス逆指値注文」取扱い開始のお知らせ

オリックス証券株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：北山 久行）は、インターネット取引サービス『オリックスオンライン』において、2007年8月4日（土）より株式取引（現物・信用取引）で「プラス逆指値注文」の取扱いを開始いたします。

「プラス逆指値注文」は、通常の指値注文と逆指値注文を組み合わせ、利益確定のための指値注文と損失拡大を防ぐためのストップロスとしての逆指値注文を同時に入力することができる特殊注文機能です。（※）

当社では、すでに株式取引の特殊注文機能として、①最初の注文が約定したことを条件に、次の注文を執行する「連続注文（できたら注文）」、②株価が指定した価格に到達した時点で注文が執行される「逆指値注文」、を提供しております。今回の「プラス逆指値注文」の追加により、特殊注文機能を一層強化でき、投資家の皆さまのリスクコントロールと利便性の向上に繋がるものと考えます。

当社は、今後も投資家の皆さまの視点に立ったサービスの拡充に努め、期待に応じて参ります。

※ 別紙「プラス逆指値注文」の利用例 をご参照ください。

■サービス開始日

2007年8月4日（土）より *2007年8月6日（月）執行分より

「プラス逆指値注文」は先物・オプション取引において2007年6月に先行開始しており、今回は株式取引においても取扱いを開始いたします。

■「プラス逆指値注文」の概要

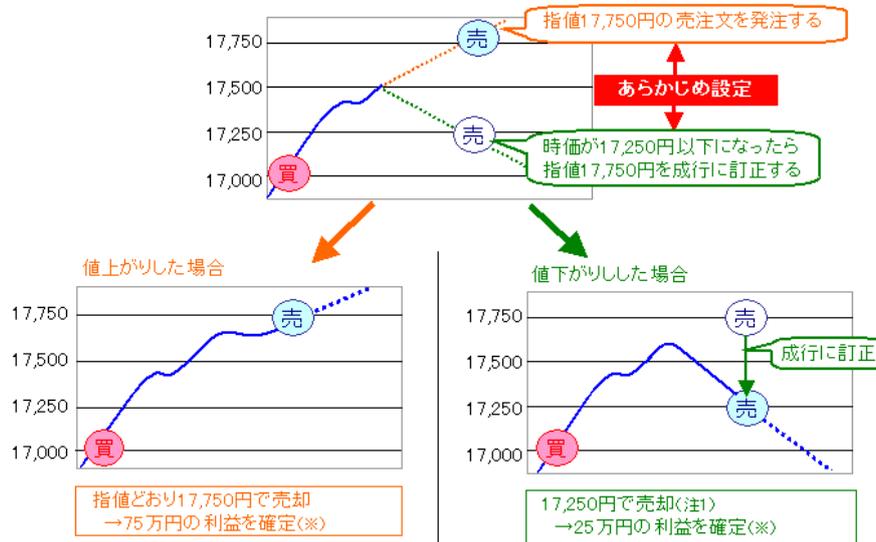
通常の指値注文と逆指値注文を組み合わせた注文をオリックス証券では「プラス逆指値」の名称とし、提供いたします。「プラス逆指値注文」は、時価がトリガー価格にヒットしたら、発注済みの指値注文を指定した価格に訂正する訂正条件付き注文です。機能としては他社が提供しているOCO (One cancels the other) と同じになります。

詳細は別紙「プラス逆指値注文」の利用例 をご確認ください。

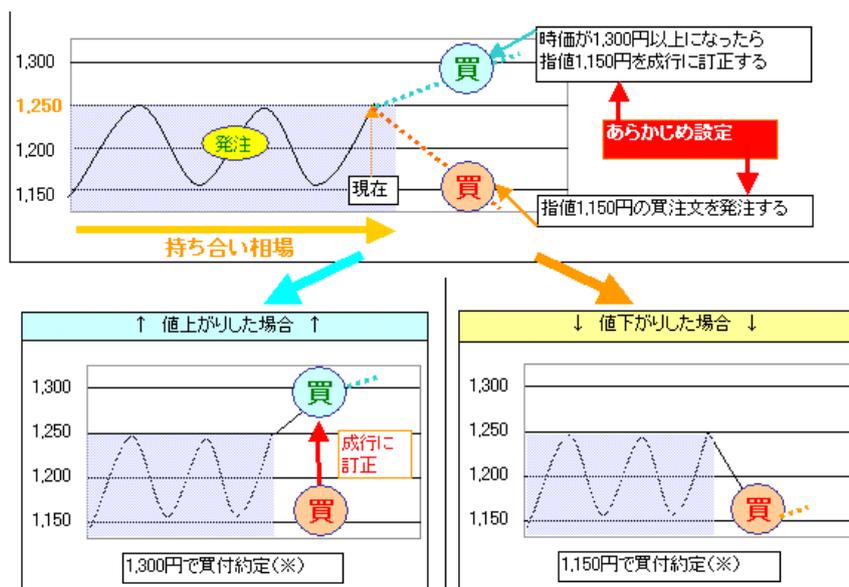
以上

「プラス逆指値注文」の利用例

例 1) 17,000 円で買い付けした株式を 17,500 円の時点で売却する場合、プラス逆指値を使うと、指値 17,750 円の売注文を出しつつ、時価が 17,250 円まで下がったら成行に訂正する注文ができます。



例 2) 1,050 円から 1,250 円の間で持ち合い圏を作って揉み合う状態の株式を買い付けする場合、直近安値である指値 1,150 円の買注文を出しつつ、出来高を伴って時価が上昇し持ち合い圏を上抜けて 1,300 円まで上がったなら成行に訂正する注文ができます。



※上記の例では、時価が指定した価格以下もしくは指定した価格以上になったことを当社のシステムが確認したことを条件として、指値から成行への訂正注文が執行されます。したがって、訂正注文が執行された時点の取引状況によっては、必ずしも例で示した価格で約定するとは限りません。また、予期せぬ価格で約定することがあります。
 ※取引手数料等の諸費用は計算に入れていません。